

キーワードは「主体的」！ 研究だより



互見授業

グループC

発行者 田澤 育江

稲村先生の美声に酔いしれる1-2の音楽

【稲村先生のこんな授業をしたい！】

音楽表現 追及の過程において、友達と関わり合いながら試行錯誤を繰り返して、高め合っている授業。

【本時の課題】 合唱（西洋）と木遣り（郷土の音楽）の違いは？

いいねポイント1 本物を見せる



「合唱発表会の練習→まず歌う」というのが、当たり前。しかし、白新中学校の合唱発表会は他とは違う！郷土の音楽である「木遣り」を全校生徒で歌います。合唱と木遣りでは声の出し方等も違うはず。2種類の合唱をするために、それぞれ本物を見せて、イメージをさせることで表現方法も変わってくるでしょう。さすが稲村先生です。

いいねポイント2 生徒同士での確認

「共通点と相違点は何？」お互いに確認をすることで、「あっそうだね」と自分が考えていなかったことに気づく場面がたくさん見られました。「気づき」が次の段階の「表現」につながります。生徒は、それをもとに合唱を作り上げていくための指針として、意欲を燃やしていました。

これが、稲村先生の求める「友達と関わり合いながら、試行錯誤を繰り返して高め合う」ですね。「木遣り」を歌う目的なども全体で確認していたことが、次の表現につながっていました。



いいねポイント3 教師の指示

違いに気づいたところで、「木遣り」の練習です。小学校でもやったことがあると言っていた生徒がリードしながら、「木遣り」の細かな音程を確認していきました。（本当は口伝でするものということです）映像で見た本物に近づけるためには、声の出し方、そしてパフォーマンスも大事にしていました。稲村先生の的確な指示により、どう表現したら映像に近づくのか考えて何度も歌っていき、合唱の始めと終わりで生徒の様子が変化していきます。



生徒の変容が一目瞭然

【参観者の付箋より（順不同です） ♪ 青付箋 ★ 赤付箋】

- ♪ 稲村先生の美声がすばらしかったです。→教員が率先して歌うことで、子供の声も出しやすかったと思います。
- ♪ 動画があることで具体的イメージができて、難聴の生徒もわかりやすい。
- ♪ 稲村先生の授業は、始まりのルーティンがしっかりしているので、授業モードに入りやすい。
- ♪ 先生とのやり取りの中で、木遣りの特徴をたくさん出していた。
- ♪ 意見を言おうとたくさん手が挙がっている。
- ♪ 生徒の意見に対して、「具体的には？」という問い返しがいい。
- ♪ 生徒が挙げた意見を一つ一つ褒めてフィードバックしている。
- ♪ 共通点・相違点で考えを深めていた。
- ♪ 木遣りの歌詞の意味を確認して歌っていた。（何のために歌うの？がわかった）
- ♪ 小学校でも歌った歌なので、主体的な取り組みであった。（小中連携？）

★共通点と相違点がたくさん出ていた。学びを深めるためには、視点をどこかで示すとオープンエンドにならないで深めることができる。

★相違点をクラスの合唱と全校合唱の違いにつながられると、授業時やクラスの練習のときも意識できてよかった。

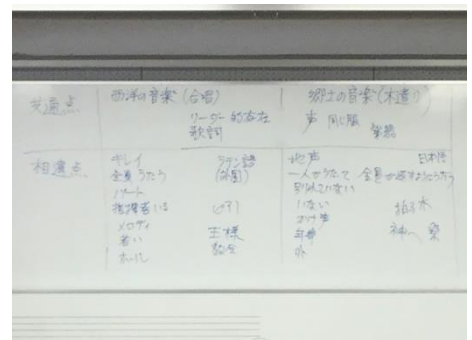
★相違点を出したことを木遣りをやる前に確認できるとよい。「○○に気をつけてやってみよう」などの声かけがあるとよい。

★近くの人との交流で相手の考えを写している人がいる。2つの映像がどうだった？という交流から始めるといいかもしれません。

★木遣りを西洋の音楽っぽく歌ったらどうなるかをやってみて、比較するとどうでしょう。

★映像の前に、自分たちで体感してから違いを見つけてもいい。

★プリントの書き方を先に確認したほうがよい。



授業後に「歌って喉が痛くなった・・・」という生徒が数人。1時間で生徒の変容がこんなにもあるものかと思った授業でした。生徒が本気になって歌う姿に心打たれました。何よりも、稲村先生の美声が素晴らしい・・・稲村先生 お疲れ様でした。

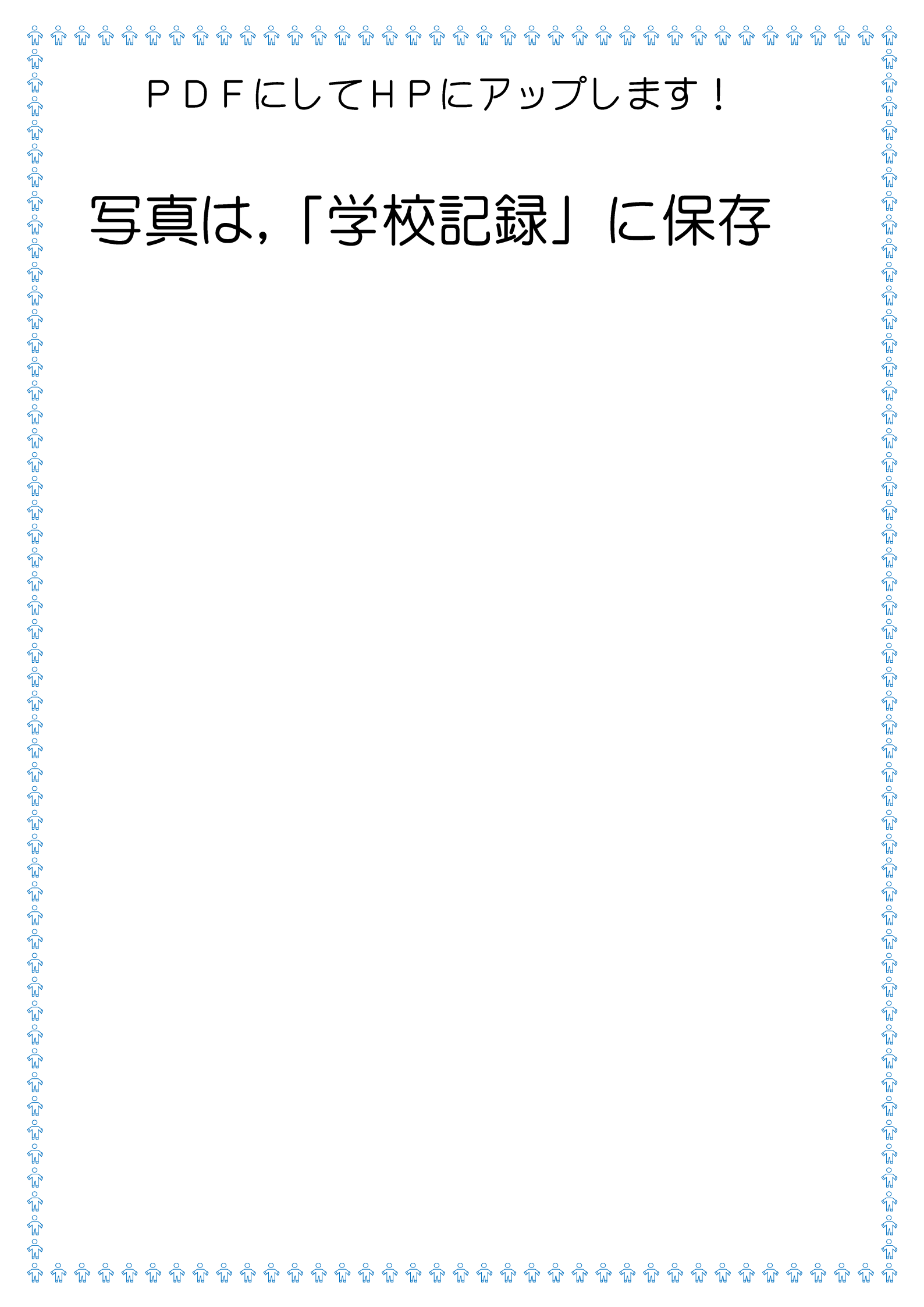
（マスクをしないで歌わせてあげたいですね・・・）

- 互見授業の「視点」は？
 - 付箋で整理する
 - 授業の様子（文章・写真）
 - ※文章は短く簡単に！
 - ※写真は,授業者の先生&視点にかかわるもの
- ★互見授業後,全職員に配付をお願いします。
記憶が新しいうちに！！

枠は,

共有フォルダ→【令和2年度】→運営委員会→
研究推進委員会→互見授業→研推だより

★印刷のもとを田村にくださ〜い。



PDFにしてHPにアップします！

写真は、「学校記録」に保存